# 議案第1号

控訴の提起について

宇都宮地方裁判所令和4年(行ウ)第5号損失補填金請求事件に関し、次のとおり、控訴を提起することについて、地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求める。

令和7年10月31日

高根沢町長 神林秀治

1 控訴の当事者

控訴人 高根沢町大字石末2053番地

高根沢町

町長 神林 秀治

被控訴人 千葉県千葉市美浜区高洲三丁目11番3号

株式会社塚原緑地研究所

代表取締役 塚原 道夫

#### 2 事件の概要

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで道の駅たかねざわ元気あっぷむら(以下「道の駅」という。) の指定管理者であった原告(被控訴人)が、令和2年4月から令和5年4月(新型コロナウイルス感染症が 感染症法上の5類感染症になった月の前月)までの道の駅における収益の減少に伴う損失については、新型コロナウイルス感染症の流行という不可抗力によるものであるとして、283,684,515円の損失補 填を求め、町を被告として訴訟を提起したもの

#### 3 原判決の内容

- (1) 被告(控訴人)は、原告(被控訴人)に対し、2,465,252円及びこれに対する令和4年1月22日から支払済みまで年3パーセントの割合による金員を支払え。
- (2) 原告のその余の請求を棄却する。
- (3) 訴訟費用は、これを100分し、その1を被告の負担とし、その余を原告の負担とする。

(4) この判決は、第1項に限り、仮に執行することができる。

### 4 控訴の趣旨

- (1) 原判決中控訴人敗訴部分を取り消す。
- (2) 被控訴人の請求を棄却する。
- (3) 第1審及び第2審の訴訟費用は、被控訴人の負担とする。 との判決を求める。

## 5 訴訟遂行の方針

- (1) 弁護士を代理人に選任し、訴訟を遂行する。
- (2) 必要がある場合は、上告し、又は和解する。